特定非営利活動法人　静岡市障害者協会

平成２９年度事業報告書

Ⅰ　成果及び課題

Ａ　成果

１	法人経営
	⑴　平成２７年度の特例認定ＮＰＯ法人の決定から数次に及ぶ寄附金キャンペーンを実施し、会員諸氏、諸団体、一般市民の方のご理解ご協力を得て、認定に求められるパブリックサポートテストの水準をほぼ満たすことができた。また所轄庁によるコンプライアンス体制等の検査を経て平成２９年１１月２４日付で待望の認定ＮＰＯ法人の決定通知書を受領することができた。２９年度は、１０５件３８５万円余の寄付を頂戴し、自主財源を確保することが出来た。 なお、静岡市所管のＮＰＯ法人は３３７法人（平成３０年３月末）、うち認定ＮＰＯは１１法人、全体の約３．３％とごく僅かである。
	⑵　当協会は、平成１７年の任意団体としての発足以来、静岡市における中核的な障がい者当事者団体の一つとして着実な歩みを重ねてきている。 法人独自事業や委託事業、障害者虐待防止等の権利擁護、障害者差別解消法の広報啓発や対応策の検討等、障がいのある方の人権擁護、社会的障壁の改善に努めた。 とりわけ県社会福祉士会が静岡県より委託された障害差別解消相談窓口に呼応し、相談員（牧野会長）を派遣し、差別解消相談事例の検討を行った。
	⑶　静岡市障害者計画策定懇話会、同障害者施策推進協議会、同障害者自立支援協議会、同特別支援連携協議会、精神科退院支援連絡会等に参画し、当事者の立場に立って様々な施策提言を行うことができた。 平成３０年度を始期とする「静岡市障がい者共生の街づくり計画」において、当協会が、上記の会議やパブリックコメントで提言した内容の中で、①計画相談の充実、②平成３０年度から実施される障害福祉サービスの進捗状況の確認、③移動支援の利用方法の改善については、同計画の実施期間中に検討すべき課題として明記された。
	⑷　外部機関の開催する第三者認証・評価を積極的に受け、組織の信頼性を高める取り組みを行った。 具体的には職員が３０年２月に開催された「ＮＰＯ会計力検定」（一般社団法人ＮＰＯ会計力検定協会主催）の「入門」及び「基本Ⅰ」に合格した。また、一般社団法人非営利組織評価センターの実施する「第三者組織評価」を受けた（結果は３０年度に公表される）。

２	法人自主事業（委託事業の地域生活及び社会参加等推進事業と合同して実施）
	⑴ 障害者プラン勉強会 １０回の開催で延べ１７０人が参加。静岡市の次期障がい者計画（静岡市障がい者共生の街づくり計画）の策定にむけて、素案の検討、パブリックコメントへの参画を促し、情報の共有と施策提言を行うことが出来た。
	⑵ 移動支援・バリアフリー委員会 ２８年度に引き続き、通学における移動支援制度の利用について、個別審査方式に

	より、同制度を活用できることについて取り上げた。 　また、公共交通機関での障害者差別解消対策として、「当協会と研修を実施」するとしたバス会社もあり、協議の場ができつつある
	⑶ 防災委員会・防災事業 　参加型地域防災教育・活動による災害時要援護者住民支え合い支援体制モデルの確立事業への参画（県立短大江原准教授の研究事業） ①西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会への出席し（８回）、 ②地域で取り組む要援護者支援（宿泊防災訓練）の実施（１１月３～４日） ③災害時要援護者支援シンポジウム（３月１３日） 　とりわけ、②の要援護者支援では、避難所運営ゲーム「ＨＵＧ（ハグ）」の図上訓練の手法を参考に、障がい者、または障がい者に扮した方が避難所に来所し、その場で必要な支援を考える等の実践的な訓練を行った。（リアルＨＵＧ）
	⑷ 共催事業・講師派遣・関係団体との協力 　心のバリアフリーイベント、第５回リワーク研究会、福祉教育、各区地域福祉推進センター等関係機関団体の主催する研修会、ボランティア養成講座、講演会、イベントの開催について、講師派遣、共催、講演等の協力を行った。

３	静岡市委託事業（静岡市障害者相談支援推進事業）
	⑴ 静岡市より、基幹相談支援センターの委託を受け、市内１０箇所の委託障害者相談支援センターと連携の下、地域での困難事例の解決や地域課題の集積により、不足する福祉サービス課題を抽出し、静岡市障害者自立支援協議会に提言した。 また、同協議会の各専門部会に参画し、強度行動障害者の研修の充実、通所事業所へのコンサルタント派遣事業の実施、障害者虐待の対応等の改善、障害者差別解消地域連携協議会の設置について提言した。
	⑵ 静岡市障害者虐待防止センターとして、２４時間対応を行うとともに、市に通報のあった障害者虐待案件のコア会議やケース会議に参画することで、当事者団体の視点で障害者虐待の防止、権利擁護に努めた。（通報・相談件数７５件、延べ人員４３人（実人員３０人））
	⑶ 障害者１１０番事業においては、身体、知的、精神の各障害者相談員による相談日を週３回常設し、ピアカウンセリング的な立場から身近な相談場所として好評を得た。 また、行政書士、県社会福祉士会と連携し、成年後見制度の活用事例を広げるとともに、虐待案件では、市からの依頼もあり２件の成年後見申立ての支援を行った。
	⑷ 性加害・性犯罪を防止するための研修会を行うために、県共同募金会の実施する「使途選択型募金」に応募し平成２９年１２月から平成３０年３月末日まで募金活動を行った。（事業実施は平成３０年度）

４	静岡市委託事業（生活保護精神障害者退院支援業務）
	⑴ 精神科退院支援連絡会（地域移行支援部会作業チーム）との連携の下、市内４病院に入院する生活保護受給者の把握及び対象者の抽出に努めた。

Ｂ　課題

１	協会の基本理念の再検討、明文化・制度改革への対応
	⑴ 協会の基本理念の再検討、明文化 当協会は、様々な障がい関係団体が大同団結していることで、行政や地域住民に一定の影響力を持って施策の提言を行うことができる。 人口の少子高齢化の長期化に伴う地域の介護の担い手の減少や財政の逼迫化により、国は『地域のあらゆる住民が役割を持ち、互いに支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して助け合いながら暮らすことのできる「地域共生社会」の実現』を提唱している。 現状の高齢者主体の「地域包括ケアシステム」をさらに深化させるとして、一層の地域住民の互助を推進し、介護、子育て、障害者、生活困窮者、家族支援等も地域社会で包括的に行うことを目指す方向性にある。 『福祉は与えるもの、与えられるものといったような「支え手側」と「受け手側」に分かれるのではないという福祉パラダイムの転換』が実現しようとしている時、障がい福祉が改革の中に埋没しないように運動方針を明確にする必要がある。

２	自主財源の確保、
	現在は、静岡市よりの委託事業費が全収入の 84%を占めている。相談案件、困難事例の大幅な増加により、同行支援（寄り添い型支援）や触法障がい者の支援も大幅に増え、事業活動経費も増大している。また独自事業や各団体との協働事業を充実させるには、自主財源の不足は否めない。 認定ＮＰＯの決定を受け、当協会は正式に寄付金控除団体になったが、５年ごとの更新に備え、更なる広報活動に努める必要がある。

３	広報啓発活動の強化・連携の確保
	当協会は、自主事業の継続開催や障害者自立支援協議会の事務局機能の一部を果たすことにより、行政機関との協働関係を保ち、かつ当事者団体としての様々な提言を行っている。こうした活動を年間でまとめた成果物やホームページ等により、広く地域住民に協会の活動を周知する必要がある。

４	業務の繁忙化と業務省力化、人材の確保、世代交代について、基幹相談支援センターの役割の検討
	委託相談支援事業の相談件数は１１１９件で、個別支援会議が１６１件、虐待対応会議が２６件あり、その他自立支援協議等の部会、プロジェクトチームやその他の会議も含めると、全職員が揃う日は皆無に近いのが実態である。加えて触法障がい者の入口支援等、緊急かつ集中的に取り組む必要のあるケースもあり、現体制では業務量が限界近くに達している。 基幹相談支援センターの業務については、『地域生活支援拠点の面的整備（地域支援ネットワークまいむまいむ』の設置を踏まえ、個別支援ケースは３年間程度の時間をかけ、委託相談支援事業所に移管することが検討され、当センターとしては、困難ケースの指導助言、地域の連携体制の強化、相談支援担当職員の実務研修の強化等について特化することが求められている。また、同ネットワークへの相談調整コーディネーターの派遣業務委託されることとなった。会長、事務局長も６１歳を超え、協会事業の次代を担う人材についての養成が課題となっている。

Ⅱ　法人運営

１　総会の開催状況

開催日・場所	種類	審議内容	出席状況	議決状況
５月25日 市中央福祉センター大会議室	通常総会	第１号議案　平成２８年度事業報告並びに活動決算について 第２号議案　平成２９年度事業計画並びに活動予算について 第３号議案　役員の改選について 講演　「地域包括ｹｱｼｽﾃﾑとは？」 講師 地域包括ｹｱ推進本部	３６／４４ (団体・個人)	全議案を承認

参考：正会員数：４４　内訳）団体正会員：２９　個人正会員：１５

２　理事会の開催状況

回数	開催日	審議内容	出席状況	議決状況
１	５月１１日	審議事項（総会に付議すべき事項について審議） 第１号議案　平成２８年度の事業報告及び活動計算書について 監査報告（杉江監事） 第２号議案　平成２９年度の活動計画及び予算案について 第３号議案　定款の変更について 報告事項 ①　委託事業の契約締結について ②　障害者雇用助成金の活用について ③　その他	９／１１ 出席監事 １名	全議案を承認
２	９月７日	審議事項 第１号議案　本年度の事業計画の進捗状況について 第２号議案　特例認定 NPO の寄付金募集キャンペーン第１弾の実施について 第３号議案　市委託事業の拡大に伴う委託金増額の要望について 第４号議案　障害者計画の策定への働きかけと要望の反映について 報告事項 ①　苦情の申出と対応について ②　事業の共催の承諾について ③　実地指導及び業務体制管理一般検査について ④　認定 NPO 法人取得のための現地調査について ⑤　職員の全国障害者技能競技大会への出場決定について ⑥　その他	９／１１ 出席監事 １名	全議案を承認
３	11月17日	審議事項 第１号議案　認定 NPO 法人の申請に伴う補正等の提出と取得見込等について 第２号議案　本年度の事業計画・予算の進捗状況について 第３号議案　来年度委託事業（本業以外について）の概算金額ついて 第４号議案　障害者プランの策定進捗と今後の働きかけについて	７／１１ 出席監事 １名	全議案を承認

		報告事項 ① 共催事業の報告 ② 実地指導及び業務体制管理一般検査の報告 ③ 全国障害者技能競技大会への出場について ④ 全国障害者スポーツ大会の選手団長について ⑤ 事業の後援の承諾 ⑥ その他		
4	3月8日	審議事項 第1号議案 寄附金キャンペーン第2弾の途中経過と対応方針 第2号議案 来年度の新規事業の展開と職員体制について 第3号議案 30年度の活動計画（重点）案について 第4号議案 30年度の予算（概算）案について 第5号議案 第三者組織評価（基礎評価）の申し込みについて 報告事項 ① 委託事業の状況報告 ② その他	7/11 出席監事 1名	全議案を承認

参考 理事定数 6名以上15名以内・現状11名 会長1名、副会長4名を含む）
監事定数 2名以上 ・現状 2名

3 わかば会（正副会長連絡調整会議）の開催状況
① 出 席 者 会長、副会長（4名）、事務局長、経理担当事務局員
② 開 催 日 4月19日、8月3日、2月1日（年3回開催）
② 協議事項 理事会に付議すべき事項、諸規定の改定、寄付金収入、契約、物品の購入の報告、職員人事、事業の進捗状況、報告、委託事業の状況、障害者施策の動向等

Ⅲ 協会自主事業

事 業 名	目 的	内 容
1 会員団体の連携および拡大事業	協会事業の安定した運営を図るため、障がい者団体等に入会を勧め、自主財源を確保する。	1．会員の拡大 正会員は5団体の加入を計画したが、正会員は1団体及び1名の加入にとどまった（年度末で25団体・11個人）。 協力会員については16件36,000円の加入があった。 2．自主財源等の確保充実 （1）助成金・寄付金 ・車両競技公益資金記念財団から『ボランティア活動に対する助成事業』助成金(150千円)を受け、簡易スロープ（2基）を購入し、災害時要援護者の防災訓練に活用した。 ・損保ジャパン日本興亜福祉財団から『NPO基盤強化資金助成事業』助成金(300千円)を受け、認定NPO法人の取得手続のための費用(108 千円)に活用した。残額は30年度に実施予定のホームページの充実のための費用に活用する予定である。 ・認定NPO法人化による、寄付金に対する税制優遇を前面に出した寄付キャンペーンを実施した（12月）。その結果、年間を通して、現金104件 3,776,113円と切手、印紙等1件（59,347円分）をいただいた。

		３．協会の情報発信 （１）会報「わかば」発行事業 会員のために協会の動きなどを掲載する会報を発行。 ・第２０号（7月発行） 巻頭言：「地域社会を構成する一員として参加する機会が与えられているのか」 渡邊英勝氏（静岡福祉大学 准教授） 特集：平成28年度事業報告、平成29年度事業計画 報告：通常総会の様子、ご寄付のお願い等 （２）ホームページの運営 協会を広く紹介することと会員発の情報提供を目的にホームページを開設し、広報している。 ・２９年度のアクセス件数は約３，０００件 開設から約２６，０００件　年間平均２，１７０件 ・随時ブログを更新し、定期的な情報提供に努めた。
２　会員団体への活動支援事業	研修等の事業を通して、会員団体の活動の充実に貢献する。	１．独自研修事業「障害者プランの勉強会」 障がい者施策や障がい者を取り巻く事柄について研修、議論する場を設けた。原則、毎月第三水曜、会場は静岡市中央福祉センター。 ２９年度は、津久井やまゆり園の事件、バス車内での転倒事故、発達障がい者、触法障がい者などのテーマが出された。 第1回　　4月１９日（水）　参加者：１０名 ①意見交換　平成28年度のふりかえりと29年度の内容 ②参加団体の活動紹介 第2回　　6月２１日（水）　参加者：１５名 ①講話　「計画相談について～相談から計画作成、サービスの利用まで」 説明：濱田貴倫（職員） 質疑応答・意見交換 ②参加団体の活動紹介 第3回　　7月１９日（水）　参加者：２０名 説明　「障害者差別解消法の具体的対応について」 ・静岡市障がい者計画等の策定について 説明：牧野善浴（会長）、小久江 寛（職員） ・質疑応答・意見交換 第4回　　8月１６日（水）　参加者：１５名 説明　「障がい者計画について」 ・障がい者計画策定までのスケジュール 説明：牧野善浴（会長） ・各団体からの意見、要望、質問 第5回　　9月１４日（水）　参加者：３０名 拡大会議「次期静岡市障がい者計画についての意見交換のための自主勉強会」 ・資料の説明　　説明：堀越英宏（事務局長） ・障害者協会の例 第6回　１０月１８日（水）　参加者：１５名 説明　「静岡市障がい者共生のまちづくり計画(案)」について ・内容の解説　　説明：牧野善浴（会長）

・質疑応答・意見交換

第7回　１１月１５日（水）　参加者：２０名

報告　「映像で見る宿泊防災訓練」

訓練の概要（報告）

説明：牧野善浴（会長）

第8回　１２月２０日（水）　参加者：１５名

説明と意見交換

「障害者プラン(案)のパブリックコメントについて」

・説明：牧野善浴（会長）、堀越英宏（事務局長）

・質疑応答・意見交換

第9回　　2月１５日（水）　参加者：２０名

説明　「日本平自動車の路線バスの体験乗車などについて」

説明：小久江 寛（職員）、牧野善浴（会長）

・参加者からの報告

・質疑応答・意見交換

第１０回　3月１５日（水）　参加者：１０名

行政説明「静岡市障がい者共生のまちづくり計画について」

説明：大畑祐人さん（静岡市障害者福祉課 企画管理係）

・計画のポイント

・質疑応答・意見交換

２．防災関係事業

２８年度に引き続き、地域防災訓練に障がい当事者が参加するための取り組みを行った。また、「西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会」に参加し、防災訓練を共催した。

（１）防災委員会

構成：理事所属団体より選出された委員７名、学籍経験者、市社協職員、行政職員（隔月）

開催は以下のとおり。会場は中央福祉センター

第1回4/4(火)★	第2回5/2(火)
第3回6/6(火)★	第4回7/4(火)
第5回8/1(火)★	第6回9/5(火)
第7回10/3(火)★	第8回11/7(火)
第9回12/5(火)★	第10回1/9(火)
第11回2/6(火)★	第12回3/6(火)

★印：障害者福祉課職員が出席した日

（２）参加型地域防災教育・活動による災害時要援護者住民支え合い支援体制モデルの確立事業（県立短大江原准教授の研究事業）に協力

①西豊田学区地域支え合い体制づくり実行委員会に出席
6/30、8/4、8/25、9/22、10/6、10/20、10/30、11/17

②地域で取り組む要援護者支援（宿泊防災訓練）

日時：１１月3日(金･祝)１６時～4日(月)１２時

会場：曲金会館　　参加者：延べ１７０名（2日間）

③災害時要援護者支援シンポジウム

日時：3月１３日（火）13:30～16:00

会場：静岡県立大学短期大学部講堂　　参加者：６１名

<table>
<tr><td></td><td></td><td>3．移動支援・バリアフリー委員会
移動支援事業を利用者にとって使いやすいものにするための場であり、各分野と定期的な意見交換を図る。２９年度も引き続き公共交通機関(バス)のバリアフリーなどに取り組んだ。
・構成：理事所属団体等より選出された委員１４名
・開催日及び主な内容は以下の通り。会場は中央福祉ｾﾝﾀｰ
<table>
<tr><td>第1回
4/27(木)</td><td>・平成２８年度のふりかえりと２９年度の内容について</td></tr>
<tr><td>第2回
5/18(木)</td><td>・移動支援の利用について
・バス事業者の事故防止委員会の参加報告</td></tr>
<tr><td>第3回
6/22(木)</td><td>・移動支援でのプール等の利用について
・大道芸ワールドカップのバリアフリーについて</td></tr>
<tr><td>第4回
7/27(木)</td><td>・移動支援でのプール等の利用について
・ＳＢＳラジオの出演について（報告）</td></tr>
<tr><td>第5回
8/24(木)</td><td>・バス事業者との打合せについて
・障がい者計画（数値目標と具体策）について</td></tr>
<tr><td>第6回
9/28(木)</td><td>・日本平自動車の路線バスについて
・次期静岡市障がい者計画の策定に関する、当協会の要望について</td></tr>
<tr><td>第7回
10/26(木)</td><td>・しずてつジャストラインとの意見交換
・期日前投票のしくみについて</td></tr>
<tr><td>第8回
11/30(木)</td><td>・通学における移動支援について
・アビリンピックの報告
・地域防災訓練への参加について</td></tr>
<tr><td>第9回
12/21(木)</td><td>・移動支援の利用について（サービス、個別協議）
・日本平自動車の路線バスの視察について</td></tr>
<tr><td>第10回
1/25(木)</td><td>・日本平自動車の路線バス視察
東静岡駅南口～日本平動物園（往復、昼食含む）</td></tr>
<tr><td>第11回
2/22(木)</td><td>・視察の報告について
・「静岡市障がい者共生のまちづくり」計画について</td></tr>
<tr><td>第12回
3/22(木)</td><td>・日本平自動車の路線バスについて（説明と意見交換）
・ＪＲ安倍川駅周辺整備について（行政説明）</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>３　障がい者福祉及び啓発事業</td><td>障がい者福祉について市民に啓発し、理解を広める。</td><td>1．各種団体と連携し、啓発的な事業に協力する。
（1）静岡人権フォーラム：会員への啓発、相互協力
（2）静岡県重症心身障害児(者)を守る会：9月１１日に開催された「災害時要援護者避難支援シンポジウム」への協力

2．静岡市主催の事業への協力
（1）心のバリアフリーイベント関連
①障害者週間(11-12月)の団体活動の紹介ﾊﾟﾈﾙ展示の協力
②本イベント（3/17）</td></tr>
<tr><td>４　スポーツ及び文化活動への促進事業</td><td>障がい者スポーツや文化活動を通して障がい者の社会参加を促進する。</td><td>1．障害者スポーツ大会などへの支援と助言
全国障害者スポーツ大会の市選手団長に牧野善浴会長が就任。
・県･静岡市･浜松市選手団合同結団式に参加（10/14）
・全国障害者スポーツ大会開会式に参加（愛媛県松山市：10/28）</td></tr>
</table>

		2．文化活動への支援と助言 （1）第３２回障害者による書道・写真全国コンテスト（戸山サンライズ主催）応募の取りまとめ 応募：書道の部３１点、写真の部2点 成績：金賞1点（書道） （3）ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ 葵区・駿河区合同作品展（ｼﾆｱｸﾗﾌﾞ 静岡市主催）の応募の取りまとめ（11/28-12/3　搬入、展示、撤収を含む） 応募：4団体（６０点）　　内容：絵画・書道・絵手紙 （4）障がい者ボードゲーム大会（主催：障がい者室内ゲームの会）に協力（1/27：職員） 3．全国障害者技能競技大会（アビリンピック） 全国障害者技能競技大会（11/16-19　栃木県宇都宮市）のＤＴＰ競技に小久江寛職員が出場
5　認定特定非営利活動法人化に向けた取り組み	協会の安定した運営のため、認定特定非営利活動法人（認定NPO 法人）の認定に向けた準備を進める。	1．認定ＮＰＯ法人化に向けた準備 平成２７年１２月に当協会は仮認定特定非営利活動法人（4月より特例認定特定非営利活動法人に改称）の認定を受けた。今後、特例認定期間中（平成３０年１２月まで）に「認定特定非営利活動法人」の認定を受ける必要があり、そのための準備を進めた。 ・通常総会での議決を経て、6月2日付で申請書を提出 ・１１月１０日に静岡市市民自治推進課の現地調査を受ける ・１１月２４日に静岡市市民自治推進課より認定の通知があり、１２月１日に認定証の授与式を開催した。
6　その他の事業	会議、委員会等への参加及び連絡調整等の事務、業務	1．公的な会議、委員会への参加等 （1）静岡市関係（詳細は「Ⅳ　静岡市障害者相談支援推進業務」を参照） ①障害者施策推進協議会に出席（副会長らが委員） ②障害者自立支援協議会に出席（副会長が委員、会長・事務局長は事務局） ③障がい者計画等策定懇話会に出席（会長、副会長、理事及び事務局長が委員、事務局長は懇話会会長） ④障害支援区分（非定型）審査会に出席（事務局長が委員） ⑤特別支援教育連携協議会に出席（会長が委員） ⑥静岡市福祉有償運送運営協議会に出席（職員が委員） （2）静岡市社会福祉協議会関係 ①市社協の理事会に理事として出席（6/29、8/30、10/4、10/31、12/8：会長） ②市社協地域福祉計画評価推進委員会に出席（8/23 会長） ③市社協ボランティアセンター運営協議会に出席（7/6、11/16、2/15：事務局長） ④地域福祉推進委員会に出席（葵区 7/24、11/21、2/20：職員　駿河区 7/28、11/15、2/23：職員） ⑤静岡ふれあい広場に出席（本番 9/10　実行委員会 5/29、6/22、7/11、8/31、10/5　参加団体全体会 8/10、10/12 職員） ⑥するがふれあい福祉フェスタに参加（11/23 職員）

		⑦市民交流まつりin中央福祉ｾﾝﾀｰ（本番2/17、実行委員会：10/10、11/7、12/12、1/16、2/1、3/7職員） （3）その他 ①ラポールたまち開所式に出席（4/11会長） ②㈳ひまわり事業団の会議（新体制検討委員会、理事会、総会等）（4/3･11･21･24、5/1･9･18･23･26、6/27、7/21、9/14、11/6･10、12/5･15･25、1/6･10･11、3/9会長、職員） ③静岡市肢体障害者協会総会に出席（5/14職員） ④静岡市静岡手をつなぐ育成会総会に出席（5/20会長、職員） ⑤㈳かがやき総会に出席（5/23職員） ⑥㈳静岡市身体障害者団体連合会総会に出席（5/27職員） ⑦障害者支援センターおのころ島（藤枝市）２０周年イベントに参加（8/26会長） ⑧国立病院機構静岡医療センター披露内覧会に出席（9/8会長） ⑨「私らしく楽しく生きようコンサート」（ひまわり事業団主催）に参加（9/8職員）

Ⅳ　静岡市障害者相談支援推進業務（静岡市委託事業）

事　業　名	目　　的	内　容
1　静岡市障害者相談支援推進事業の整備、企画、推進	障害者相談支援推進事業として、基幹相談支援センター事業と障害者相談支援推進事業を運営するための体制を整備し、事業を企画、推進する。	1．本事業の運営の体制整備、企画、推進 （1）業務の体制整備 ①開所日：２４４日(土、日、祭日、年末年始を除く) ②開所時間：原則9時～１７時 ③人員:管理者（相談支援員兼務）　１名 相談支援員(専門職員：常勤専任)　3名 相談支援推進従事職員(常勤兼務)　１名 相談員(非常勤)　１名 事務員(常勤職員)　１名 （2）基幹相談支援センター関係の企画・推進 ①総合的・専門的な相談支援の実施 ・総合的・専門的な相談支援 ・困難事例への対応 ・個別支援計画の作成支援等 ・個別支援会議の実施 ②地域の相談支援体制の強化の取組 ・地域の相談機関への助言・指導 ・地域の相談支援事業者の人材育成支援 ・全体会議の運営 ・区の調整会議の運営支援 ・自立支援協議会の運営への協力 ・地域の相談機関との連携強化 ③地域移行・地域定着の促進の取組 ・施設等関係機関とのネットワーク作り ④権利擁護・虐待の防止 ・成年後見制度利用の支援

		（3）障害者相談支援推進事業の企画、推進 ①障害者１１０番事業 ・三障がいごとに選任された障害者相談員が、事務所にて相談対応を担当 ・行政書士が、経験を活かして各種の相談に対応 ②身体障害者補助犬相談事業 ・静岡県補助犬支援センターに事業助成して実施 ・月次報告を受理 ③地域生活及び社会参加等推進事業 ・心のバリアフリーイベントの企画への協力 2. 障がい福祉に関わる関係機関の連携強化と支援体制の整備促進 （1）行政関係（静岡市）の会議への出席 ①障害者施策推進協議会への出席 （7/14、8/28、10/27、2/5：会長、事務局長） ②静岡市障がい者計画等策定懇話会に出席 （7/31、10/13：会長、事務局長／座長） ③市発達障害者支援地域協議会準備会に出席（6/8 事務局長） ④市障害児移動支援個別検討会議に出席 （6/6･27、7/14、11/8、1/5･22、2/8 会長） ⑤市発達支援地域協議会の第１回成人期作業部会に出席 （11/27 事務局長） ⑥市児童発達支援ｾﾝﾀｰ審査会に出席 （12/21、1/12 事務局長） ⑦市障害者福祉課による集団指導及び事業所説明会に出席 （3/12 事務局長） ⑧市福祉有償運送運営協議会・同事務局会議に出席 （7/24、8/1　職員） ⑨市特別支援教育連携協議会(市特別支援教育センター主催)に出席（7/12、2/7 会長） 同自立支援部会に出席（7/24、11/9 会長/座長） 同教育支援部会に出席（8/25、11/27 会長） ⑩非定型審査会に出席 （4/24、5/26、6/23、7/20、8/29、9/26、10/23、11/28、1/23、2/23、3/23 事務局長） 非定型審査会委員委嘱状伝達式に出席（4/10 事務局長） 県市審査会委員研修会（県主催）の受講（5/23 事務局長） ⑪市障がい児地域移行会議に出席（2/23 事務局長） （2）機関等の会議への出席 ①清水区暮らし・しごと相談センター生活困窮者支援調整会議に出席（4/27、5/25、6/22、7/27、8/24、9/28、11/24、12/22、2/22、3/22 事務局長） ②精神の相談支援事業所のピアサポーター活動の打合せに出席（6/14 職員） ③医療・福祉なんでも相談会（銀さら勉強会主催）に出席（6/17、2/24 事務局長） ④再犯防止・社会復帰支援推進ネットワークしずおか(仮称)準備会の開催（7/11 会長、事務局長、相談担当職員）

		⑤静岡保護観察所社会復帰連絡協議会に出席 （7/31 会長、職員） ⑥精神保健福祉法に基づく通報時の対応強化等の事例検証会議に出席（8/23 事務局長） ⑦県社会福祉士会差別解消事例検討会（9/8、12/19 会長） ⑧市城東地域包括支援センター地域ケア会議に出席 （10/19 会長、職員） ⑨触法障がい者の釈放後の支援の検討会に出席 （10/31 会長） ⑩進路担当者連絡協議会福祉部会に出席（11/7 会長） ⑪成人期発達障害事例検討会（きらり主催）に出席 （12/14 会長、事務局長） ⑫療育手帳の再判定期間について児童相談所と打合せ （12/20、会長、事務局長） ⑬市強度行動障がい者支援施設サポート事業の打合せに出席（2/2 事務局長） ⑭刑事司法と福祉連携のための委員会（県弁護士会主催）に出席（2/15 会長） ⑮特別支援学校の地域移行会議に出席（3/5･13 事務局長） ⑯市障がい者歯科保健推進会議に出席 （7/14、2/16 会長、10/6 事務局長） （3）その他 ①障害者就職面接会（主催：静岡労働局）に相談ブース参加（9/15、2/15：職員） ②静岡県障害者差別解消相談窓口の開所式（6/1 会長） ③日本地域福祉学会講演会に参加（6/28 会長） ④ふじのくにニッポンの縁側フォーラムに出席（7/2 会長、事務局長） ⑤県社会福祉士会障害者委員会に出席 （4/1、6/25、8/6 会長）
2　基幹相談支援センター事業	総合的・専門的な相談支援、相談機関職員の育成、困難事例への対応、相談支援事業者に対する支援･助言を行なう。 自立支援協議会に協力して課題の解決や福祉の向上に努める。	1．総合的・専門的な相談支援の実施 （1）総合的・専門的な相談支援事業 ①常設窓口（月～金曜日　午前9時～午後5時） ②相談件数　計 1,119 件（市内 1,057、市外 57、不明 5） ③障がい種別　身体 41 件（肢体 15、内部 11、聴覚 6、視覚 5、その他 2、不詳 2）、知的 463 件、重心 3 件、発達 6 件、精神 206 件、高次脳 10 件、重複 377 件、その他 4 件、不明 9 件 （2）困難事例への対応 ①対応件数　837 件 ②主なケース a.身体・精神障がい者への支援 アルコールが入ると自殺企図が出てくる重複（身体・精神）障がいのある方の支援（不安解消、通院同行等） b.触法障がい者への支援 累犯障がい者の出所後の生活支援 c.成年後見制度利用（本人申立て）の助言、行政書士による

		書類作成支援 ③ケース会議への参加及び助言・支援 ・個別支援会議参加　１６１回 ２．地域の相談支援体制の強化の取組 （１）地域の相談機関への助言・指導　２９１回 ①相談支援センターの相談支援の質の向上の検討 ・相談支援センターの研修の企画、運営 ・困難ケースへの同行、ケース会議への同席 （２）地域の相談支援事業者の人材育成支援　１０回 ①相談支援職員研修会の実施 （障がい者の生涯学習会、虐待防止研修、強度行動障がい者支援施設サポート研修会と同時開催） 日程：１２月１・２日（土・日） ﾃｰﾏ：フレームワークを活用した自閉症支援 会場：清水区役所ふれあいホール 講師：水野敦之氏（自閉症支援･ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ） 参加者：１５０名 ②第5回リワーク研修会 日程：1月２５日（木） ﾃｰﾏ：精神障がいのある人へのリワーク支援 会場：静岡市中央福祉センター 講師：・寺田和弘氏（静岡市こころの健康センター） ・寺田 浩氏（こころと身体のクリニック　あおいクリニック　理事長・精神科医　医学博士） 参加者：３０名 ③講師との打合せ等 （３）全体会議の運営 自立支援協議会の実働部隊として各区で開かれる相談支援センターを中心とした連絡調整会議として、クループワーク等を通して困難事例・課題などを検討した。 ①第24回(29年度第１回)全体連絡調整会議の開催 日時　7月２５日（火）13:30-16:00 会場　静岡市中央福祉センター　大会議室 議題　・静岡市自立支援協議会の専門部会等の開催状況の報告等 ・自立支援協議会に提出する地域課題(案)について ・関係機関団体からの情報提供 ・社会福祉法の改正にともなう今後の相談支援事業について ②第25回(29年度第2回)全体連絡調整全体会議の開催 日時　１２月１９日（火）13:30-16:00 会場　静岡市中央福祉センター　大会議室 議題　・行政説明 「静岡市障がい者共生のまちづくり計画」のパブリックコメントについて 地域生活拠点「まいむ・まいむ」について ・報告　「長期終結困難事例」に関するｱﾝｹｰﾄについて ・グループワーク

③第26回(29年度第3回)全体連絡調整全体会議の開催
日時　3月27日（火）13:30-16:00
会場　静岡市中央福祉センター　大会議室
議題　・行政説明
計画相談支援の報酬改定・特定事業所加算・地域生活拠点等の加算について
・協議　静岡市自立支援協議会における仮称『相談支援部会』の設置ににむけて
・地域生活支援拠点ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑの報告について

（4）行政区の連絡調整会議の運営支援
全体連絡調整会議前のケース会議として、各相談支援事業者の困難事例、課題について検討し、意見交換した。
①各区連絡調整会議事務局会議への出席
・議題：就労継続支援更新審査
困難事例への支援策検討等
問題解決策の検討
・開催日時及び会場
〔葵　区〕　（城東福祉エリア）
第1回4/12、第2回 5/16、第3回 6/12、
第4回 7/10、第5回 8/17、第6回 9/12、
第7回10/17、第8回11/14、第9回12/13、
第10回1/15、第11回2/15、第12回3/14
〔駿河区〕　（駿河区役所・駿河消防署）
第1回 4/11、第2回 5/ 9、第3回 6/13、
第4回 7/11、第5回 8/ 8、第6回 9/12、
第7回10/10、第8回11/14、第9回12/12、
第10回1/10、第11回2/13、第12回3/13
〔清水区〕　（清水区役所・しみず事業団）
第1回 4/12、第2回 5/10、第3回6/14、
第4回 7/12、第5回 8/ 9、第6回 9/13、
第7回10/11 第8回11/ 8、第9回12/13、
第10回1/10、第11回2/14、第12回3/14
②各区連絡調整会議への出席
・議題：事例報告と意見交換　等
・開催日時及び会場
〔葵　区〕事務局会議と同様（城東福祉エリア）

（5）地域の相談機関との連携強化
①静岡労働局（ハローワーク静岡・清水）との連携
・就労ワンストップ相談窓口の対応
葵　区　4/20：1件、 5/18：2件、 6/15：2件
7/20：1件、 8/17：0件、 9/21：0件
10/19：0件、11/16：1件、12/21：1件
1/18：0件、 3/15：1件
年間計　9件
清水区　4/26：1件、 5/24：0件、 6/28：0件
7/26：0件、 8/24：0件、 9/27：0件
10/25：0件、11/22：0件、12/27：0件
1/24：0件、 2/28：1件、 3/28：0件

		年間計　　2件 ・障害者就職面接会に出席（9/15､2/15：職員）（再掲） ②特別支援学校関係との連携（一部再掲） ・進路担当者連絡協議会福祉部会に出席（11/7 会長） ・地域移行会議に出席（3/5･13 事務局長） ・静岡北特別支援学校の保護者に向けて卒業後の地域デビューについて講演：6/7 事務局長） ・静大附属特別支援学校保護者向け福祉サービス説明会に講師として出席（1/27:事務局長） ・静岡北特別支援学校の保護者に向けて社会資源について講演：2/20 事務局長） ③研修等への講師としての参加 ・駿河区内の委託相談支援センターの相談員が地域課題の取りまとめ方について研修（5/30 会長、事務局長） ・静岡市障害者相談員研修会（差別解消法：7/4 事務局長） ・清水区障害者歯科研修会（相談支援：7/5 事務局長） ・常葉大学短期大学部ボランティア講座（障がい者への理解・差別解消法：8/7､10/20､11/2 事務局長､職員） ・市社協駿河区地域福祉推進ｾﾝﾀｰﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ講演会（障がい特性の理解：11/16 事務局長） ・清水区役所職員研修（差別解消法：12/12 事務局長） ・県障害者差別解消啓発セミナー（県社会福祉士会主催）（1/17 シンポジスト 事務局長､職員、運営:会長） ・富士山ｻﾐｯﾄ in Shizuoka「相模原障害者殺傷事件を通して命と暮らしを考える」（1/28 ﾊﾟﾈﾗｰ:事務局長） ・市長尾川地域包括支援ｾﾝﾀｰの地域ｹｱ会議（2/16 事務局長） ・事業所･団体等からの依頼による講師 しずてつｼﾞｬｽﾄﾗｲﾝ鳥坂営業所（障がい特性について：5/3 会長､職員､職員）、特養ホーム「久能の里」（虐待防止:5/9 事務局長）、(N)清水地域精神保健福祉心明会（福祉制度：5/27 事務局長）、市静岡手をつなぐ育成会（相談窓口：6/11､3/4 事務局長）、大道芸ワールドカップ実行委員会（差別解消 6/21､ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ研修 10/8 会長）、(N)かがやき（成年後見制度:8/22､10/17､10/21 職員）、(N)しずおか地域支援ネットゆう（虐待防止法：8/30 事務局長）、静岡人権フォーラム（差別解消法：9/9 事務局長）、清水区庵原地区社会福祉協議会（障がい特性の理解：11/11 事務局長）、障害児者問題勉強会ほうせんか（親亡き後の支援：11/21 事務局長）、末日聖徒イエス･キリスト教会（発達障がい：1/27 職員） ④研修等の受講・講演会への出席 ＜資格取得目的＞ ・強度行動障害支援者養成研修基礎研修を受講（基礎研修 9/20-21、実践研修 12/19-20 職員） ・相談支援従事者現任研修を受講（10/3､12-13 事務局長、10/3､19-20 職員）

		＜身体障がい関係＞ ・相談員実地研修（菊川市清松園）に出席 （8/30、9/13、10/11、11/8、12/13、1/10、2/14、3/14 職員） ＜知的・発達関係＞ ・発達障がいを考える会（きらり主催）に出席 （4/26、6/21、8/23、10/27、2/23 事務局長） ・知的・発達障害者の思春期ｾﾐﾅｰ（ぱんだ学校部会主催）を受講（10/7 事務局長） ・PandA-J 緊急濃厚ゼミ「津久井やまゆり園再生構想を考える（PandA-J 主催）に出席（11/5 事務局長） ・玉柏会福祉セミナー（玉柏会主催）を受講（11/15 職員） ＜精神障がい関係＞ ・心の健康フェア講演会（静岡県精神保健福祉協会主催）に参加（12/7 職員） ・精神障害者地域移行定着支援推進研修（県自立支援協議会地域移行部会主催）に参加（1/19 職員） ・静岡市精神障害者支援研修会（市こころの健康センター主催）に出席（3/9 職員） ＜権利擁護等その他＞ ・ＮＰＯ法人静岡司法福祉ネット明日の空の研修会に参加（12/16 事務局長） ・東部司法福祉勉強会（ＮＰＯ法人静岡司法福祉ネット明日の空主催）に出席（2/6 事務局長） ・賃貸住宅入居推進支援研修会(県主催)に出席（2/13 職員） ・地域生活定着支援センター啓発研修（県地域生活定着支援センター主催）に出席（2/26 職員） ・法テラス静岡地方協議会（法テラス静岡地方事務所主催）に出席（3/7 職員） ・第3回東京ＴＳネットワークセミナー（東京ＴＳネットワーク主催）に出席（3/10 事務局長） ・はままつフォーラム２０１８（浜松インクルージョン研究会他主催）に出席（3/25 会長、事務局長） ・ＮＰＯ法人・一般社団法人の決算と雇用に関わる税務等研修会の受講（4/5 職員） ・ＮＰＯ法人の事務のお仕事カレンダー研修会（清水市民活動センター主催）の受講（5/12 職員） ・ＮＰＯだから学ぶ経済の流れ講座（日本財団主催）の受講（9/1 職員） ３．障害者自立支援協議会の運営への協力 （１）市主催の障害者自立支援協議会に役員が委員として出席し、障がい当事者の立場から意見を具申した。 ①第２１回（２９年度第１回）協議会 日時　平成２９年８月２日(水) 14:00-16:00 会場　市役所本館３階　第１委員会室 議題　・専門部会の活動について ・各区が取組むテーマについて ・第５期静岡市障がい福祉計画について

		・報告事項 ②第２２回（２９年度第2回）協議会 日時　平成２９年8月２５日（木）14:00-16:00 会場　城東福祉エリア　第１・２研修室 議題　・第４期障がい福祉計画の構成と進捗状況について ・次期障がい者計画等の策定について ・報告事項 ②第２３回（２９年度第3回）協議会 日時　平成２９年１０月２７日（木）9:30-11:30 会場　市役所本館３階　第１委員会室 議題　・「静岡市障がい者共生まちづくり計画」について ②第２４回（２９年度第4回）協議会 日時　平成３０年2月8日（木）14:00-16:00 会場　市役所本館３階　第１委員会室 議題　・「静岡市障がい者共生まちづくり計画」について ・平成 29 年度 専門部会の活動について ・平成 29 年度　各区の地域課題について ・報告事項 （２）協議会内の部会・プロジェクトチーム（ＰＴ）に参加 ①地域生活支援拠点プロジェクトチーム(ＰＴ) （9/7、11/30、12/6、3/30 事務局長） ②平成 29 年度都道府県・政令市障害者自立支援協議会担当者連絡会に出席（1/26 事務局長） ③地域生活支援部会に出席（6/6 会長） ④地域生活支援部会ＰＴの各会議に出席 ・地域生活支援拠点ＰＴ会議に出席 （5/19、6/23 事務局長、職員） ・強度行動障害ＰＴ会議に出席（5/29 堀越） ⑤就労支援部会に出席 （6/2、7/18、8/31、9/26、12/26 職員） ・富士圏域ジョブマッチング会議の視察（6/21 職員） ・ゆうやけ相談会に協力 （7/27、11/16、2/22 会長、事務局長、職員） ⑥権利擁護部会に出席（6/14、7/6 会長、事務局長、職員） ⑦障害者虐待防止検証会議に出席（3/22 会長、事務局長） ⑧地域移行支援部会に出席（1/16 会長） ⑨地域移行支援部会ﾜｰｷﾝｸﾞ ｸﾞﾙｰﾌﾟ 会議に出席（4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/22、12/22、1/26、2/23、3/23 会長、職員） ・社会資源（施設・グループホーム・事業所）の現地視察 （10/26、11/29、1/23･30、2/27、3/20 職員） ⑩こども部会の新設について、地域生活支援係と打合せ （1/24、3/15 会長、事務局長） 4．地域移行・地域定着の促進の取組 （１）触法障害者の地域定着支援（金銭管理(月に２回）、買い物同行等） （２）関係する機関の会議等への出席 ・地域移行支援部会ﾜｰｷﾝｸﾞ ｸﾞﾙｰﾌﾟ 会議に出席

		（再掲 4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/22、12/22、1/26、2/23、3/23 会長、職員） 5．権利擁護・虐待の防止 ※詳細は「4　障害者虐待防止センター事業」参照
3　障害者相談支援推進事業	基幹相談支援センター以外の相談支援について、全体的、網羅的に対応し、相談員を配置して総合的な相談支援にあたる。	1．障害者１１０番事業 （1）相談業務 ①開設時間（月～金曜日　午前9時～午後5時） ②障がい別相談と担当団体（午前 10 時～午後４時） 火曜　知的　育成会(静岡・清水)、守る会 水曜　身体　肢体（清水)、体幹、視覚 木曜　精神　静心会、心明会、しいの木 ③障がい別相談員　延べ 190 名（150 日間） （2）相談の概要 ①相談件数　計 422 件（市内 400、市外 22） ②障がい種別　身体 12 件（肢体 8、聴覚 2、視覚 1、その他 1）、知的 137 件、発達 1 件、精神 113 件、高次脳 1 件、重複 140 件、その他 1 件、不明 17 件 （3）１１０番相談員活動強化事業 ①障害者１１０番相談員研修会（静岡市身体障害者・知的障害者相談員研修会と同時開催） 日程：7月4日（火） ﾃｰﾏ：障害者差別解消・合理的配慮 会場：城東保健福祉エリア 講師：堀越英宏（事務局長） 2．地域生活及び社会参加推進事業 （1）障がい者等の地域生活の推進 ①障害者のための生涯学習会の共催（再掲 12/1、2） （2）障がい者等の芸術・文化活動およびスポーツの推進 ①第３２回障害者による書道・写真全国コンテスト応募取りまとめ（再掲） ②シニアクラブ葵区・駿河区合同作品展（11/28-12/3）応募取りまとめ（再掲） （3）障がいについての理解促進、普及啓発活動の推進 ①心のバリアフリーイベント（3/17） ・実行委員会に出席（6/19、2/19：会長、事務局長、職員） ・ポスター、啓発グッズのデザイン作成の協力 ・弁護士無料相談ブースの調整を県弁護士会と行う
4　障害者虐待防止センター事業	障害者虐待の通報を受理し、関係機関と連携し、障害者及び擁護者に対する相談・指導・助言を行なう。当事者の視点で本人の人権を守り、権利を擁	1.障害者虐待防止センターの設置・運営 （1）開設時間（２４時間　３６５日） 平日(月～金) 9時～１７時　　職員が対応 上記以外　　携帯電話に転送、職員が対応 （2）対応件数　計７５件 延べ人員　４３人（うち実人員３８人）

	護する。	2．虐待関連の会議（コア会議、ケース会議）に出席 （1）虐待対応関連会議への出席（26 回） （2）虐待対応検証会議に出席（3/22：会長、事務局長） 3．虐待防止の啓発 （1）自立支援協議会内、権利擁護・虐待防止部会の開催（7/11、9/7、11/21）（再掲） （2）虐待防止研修会（障がい者の生涯学習会、強度行動障がい者支援施設サポート研修会と同時開催） 日程：１2月1・2日（土・日） ﾃｰﾏ：フレームワークを活用した自閉症支援 会場：清水区役所ふれあいホール 講師：水野敦之氏（自閉症支援･ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ） 参加者：１５０名 4．研修等の受講、講演会への出席（再掲） （1）講演会の講師 ・特養ホーム「久能の里」（5/9 事務局長） ・㈱しずおか地域支援ネットゆう（8/30 事務局長）
5　生活保護精神障害者退院支援業務	生活保護法に規定する被保護者のうち、精神科病院に入院している精神障害者に関する地域移行、社会参加を促進する	1．事業内容の周知と連携 連携会議に出席し、3区の専任相談員からの活動状況報告を受け、精神障害者の地域移行の課題等の把握に努める （1）関係者連絡会 日程　6月１6日（火）14:00～16:00 会場　葵区役所　生活支援課会議室 議題　・退院支援プログラムについて ・平成 28 年度支援結果について ・平成 29 年度支援方法について ・意見交換 （2）自立支援協議会の地域移行支援部会に出席 (6/6、1/16 会長) （3）地域移行支援部会のワーキンググループ会議(前年度の精神障害者退院支援連絡会が改組)に出席 （4/28、5/26、6/23、7/28、8/25、9/22、10/27、11/22、12/22、1/26、2/23、3/23 会長、職員） 2．事業対象者への支援の検討 関係者の連絡会にて事業対象者の選任、事業の進め方を検討し、退院支援の状況を確認する 3．直接支援 平成２８年度から継続して支援する方のほか、提供される対象者名簿と現在の連携会議の生活保護受給者から支援の対象者を選定し、支援した。 ・平成 28 年度から継続支援　　１名（転院につき終了） ・平成 29 年度から新たに支援　１名（継続中） ・平成 29 年度の名簿の対象者（5 名）には、間接的支援（うち、１名は退院）